

## 国際物流と貿易の未来を考える 「学生フォーラム」



【日時】 2024年3月11日（月）（於：東京税関 本関）

【開催主体】 <主催団体>  
財務省関税局、（一社）日本通関業連合会、東京通関業会、  
(公財)日本関税協会、輸出入・港湾関連情報処理センター（株）  
<協力団体>  
(一社)日本貿易会、日本機械輸出組合

【参加校】 亜細亜大学、大阪経済大学、高崎経済大学、高千穂大学、千葉大学、  
中央大学、津田塾大学、東京国際大学、富山高等専門学校、福島工業  
高等専門学校、福知山公立大学、明治大学

【参加者数】 <予選会参加者数> 78名・20チーム  
※予選会は書面審査  
<本選参加者数> 67名・18チーム  
- 本選発表チーム：37名・10チーム  
- その他の参加チーム：30名・8チーム

【審査員】 <審査員長>  
長谷川 聰哲（中央大学 名誉教授）  
  
岩田 伸人（青山学院大学 名誉教授、（公財）日本関税協会 理事）  
遠藤 正寛（慶應義塾大学 教授）  
岡藤 正策（一社）日本通関業連合会 会長）  
平松 均（輸出入・港湾関連情報処理センター(株) 代表取締役社長）  
奈良井 功（財務省関税局 総務課長）

## 国際物流と貿易の未来を考える 「学生フォーラム」



主催 財務省關稅局 日本通關業連合會 東京通關業會 日本關稅協會 輸出入・港灣關連

情報処理センター  
日本貿易会議組合

集合：東京税關 東京都江東区青海2-7-11

ナリエンテーション、業務紹介ビデオ上映  
窓口ヒヤ集会（下の案内図参照）

東京税関出発  
モスクワ移動

Bグレーブ  
FedEx  
東京外郵出張

主催者代表  
各グルーブ答  
題選考会  
開催に係る事項

その他の参加チームの研究内容の紹介  
開税局、共催団体若手職員との交流会

※配席は裏面をご覧ください

No	大学部	「チーム名」 リーダー・人数	「バス/見学 グループ」
1	富山高等専門学校 国際ビジネス学科	「らいちゅうじゅう」 片山・4名	①)/(4)/B-2
2	中央大学 経済学部	「とろけるチーズ班」 佐々木・3名	⑤)/-/A-1
3	亜細亜大学 国際関係学部	「久野ゼミ」 高山・3名	⑤)/(1)/A-1
4	高崎経済大学 経済学部	「海鳥ゼミナール」 涌井・7名	④)/(2)/A-2
5	東京国際大学 商学部	「Export Sphere Researchers 〔ESR〕」 大馬・2名	①)/(1)/A-1
6	千葉大学 法政経学部	「伊藤ゼミ」 河村・4名	②)/(1)/A-1
7	富山高等専門学校 国際ビジネス学科	「Latte」 松本・3名	②)/(4)/B-2
8	福知山公立大学 地域経営学部	「林として弓」 松林・1名	①)/(1)/A-2
9	津田塾大学 総合政策学部	「ゆきのこ」 小倉・7名	③)/(3)/B-1
10	福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニケーション学科	「タカギーズ」 鈴木・3名	⑤)/(1)/A-1
その他のお参加チーム（※50音順）			
11	大阪経済大学 経営学部	「HSナビゲーター」 大西・3名	⑬)/(1)/A-1
12	高千穂大学 商学部	「観光地域班」 川瀬・4名	—
13	中央大学 経済学部	「隆摩藩」 宮城・4名	⑥)/(2)/A-2
14	中央大学 経済学部	「対馬藩」 山之口・4名	⑦)/(1)/A-2
15	中央大学 経済学部	「松前藩」 石賀・4名	⑧)/(3)/B-1
16	中央大学 経済学部	「長崎藩」 加瀬・4名	⑨)/(3)/B-1
17	中央大学 経済学部	「大判焼き広報委員会」 金森・4名	—
18	津田塾大学 総合政策学部	「つたぢゅーぶ」 並木・2名	⑩)/(1)/A-2
19	津田塾大学 総合政策学部	「災害用ロボットチーム」 大道・5名	⑪)/(3)/B-2
20	明治大学 商学部	「まちだんご四兄弟」 勝又・4名	⑫)/(4)/B-2

その他の参加チーム（※50音順）

11	大阪経済大学 経営学部	「HSナビゲーター」 大西・3名	(3)/(1)/A-1
12	高千穂大学 商学部	「観光地図班」 川瀬・4名	—
13	中央大学 経済学部	「薩摩藩」 宮城・4名	(6)/(2)/A-2
14	中央大学 経済学部	「対馬藩」 山之口・4名	(7)/(1)/A-2
15	中央大学 経済学部	「松前藩」 石賀・4名	(8)/(3)/B-1
16	中央大学 経済学部	「長崎藩」 加瀬・4名	(9)/(3)/B-1
17	中央大学 経済学部	「大判焼き企画委員会」 金森・4名	—
18	津田塾大学 総合政策学部	「つたちゅーぶ」 並木・2名	(10)/(1)/A-2
19	津田塾大学 総合政策学部	「災害用ロボットチーマ」 大道・5名	(11)/(3)/B-2
20	明治大学 商学部	「まちだんご兄弟」 勝又・4名	(12)/(4)/B-2



## 審査の対象

審査項目は「問題意識」、「調査力」、「分析力」、「発表力」、「将来性」となります。

発表時間が12分を超えた部分についても審査の対象となりますので、時間超過の場合でも発表を続けてください。なお、12分を超えた時間に応じて減点されますので注意してください。

質疑応答の内容についても審査の対象になります。

### 表彰内容(副賞)

### 最優秀賞

### 優秀賞

### 取扱賞



※対象チームに表彰時に賞状とともにお渡します。

### 当日の留意事項

服装の指定はございませんが、職場見学先の性質上、ハイヒール等かかとの尖った靴、スカート等はお控えください。観察先では2階で足場が解状になっています。

体調不良になった場合は、遠慮なくお近くの事務局スタッフへ申し出してください。

職場見学やフォーラムの内容については、記録用として写真撮影、ビデオ撮影を行います。

写真やビデオを対外的に使用する場合、写っている方を対象に事前に使用の可否についてお尋ねします。

当日、マスコミによる取材がある可能性があります。

職場見学時の写真撮影は遠慮願います。  
後日、事務局スタッフが撮影した写真を御提供いたします。

フォーラム終了後に、フォーラムの様子について、各学校やゼミのHPでご紹介いただくのは大歓迎です！

### 【緊急連絡先】

#### 学生フォーラム事務局

財務省関税局税關調査室

・小西 (090-4248-6604)

・峯松 (090-5082-9178)



## 発表中の留意事項

スマートフォンやタブレット等の電子機器はマナーモードが電源を切って、音が鳴らないようにしてください。

途中、トイレなどで入退室する際は、可能な限り、発表チームの入れ替えのタイミングでお願いします。

自チームの妨害となる行為は行わないようお願いします。  
自チームや他チームの発表中に、不測の事態が生じた場合は、遠慮なくお近くの事務局スタッフにお知らせください。

滅多にない機会ですので、これまでの研究成果を思う存分発表し、何よりも楽しんでください！①

### 午後(昼食後)の流れ



## 発表手順

- 直前のグループの質疑応答が終了した後、発表者席に登壇(移動中、スタッフが資料を撮影)
- 司会者の案内で発表を開始(タイムキーパーが計測開始)
- 投影スライドをスタッフがスクリーンに投影
- 発表者席に設置したPCを使って、発表者が投影スライドを操作
- 発表開始から10分、11分、12分経過時にタイムキーパーが経過時間をカードで掲示
- 発表終了後、審査員からの質問に回答(3分間)
- 司会者の案内で降壇



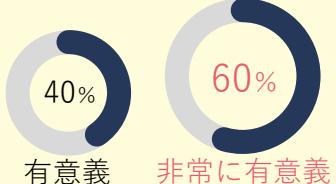
### 発表方法

- 会場が広いため発言時はマイクを使用ください。
- 壇上に上がって動きながら説明することも可能です。
- チーム内で相談しながら事前に役割分担(発表者、スライド操作、その他)を決め、発表時間内(12分間)での「伝え方」を工夫しましょう。

回答数  
25名

## アンケート結果 (集約版)

### ・学生フォーラムの評価



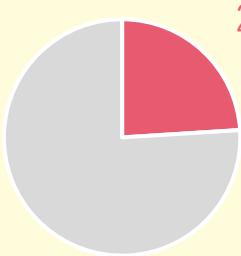
### ・参加して…



### 学生フォーラムの開催意義

- 専攻を深めることができ、他学の意見も吸収できた。
- 普段意識しない事を自ら問題意識を持って研究し、考えるきっかけを得られた。
- 国際物流や貿易関連の職に興味を持った。
- 研究を評価いただける場はありがたい。
- 財務省、税関職員や大学教授の方々からのご意見伺えたことで、研究の展望が見出せた
- 学生が税関や物流業界を知る良い機会で、就職先に選ぶきっかけにもなり得る。
- 学生目線からの新鮮なアイデアが、国の法や活動へ影響を与える可能性がある。

### 税関の認知度

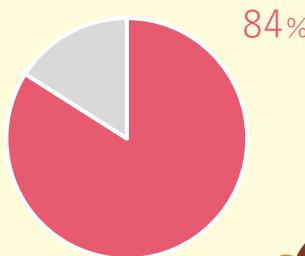


全く知らなかった  
名前は聞いたことがあった

### 学生フォーラム参加後



### 税関に対する印象の変化



### 学生フォーラムに参加して良かった点

- 自らのキャリアプランに国家公務員もありかなと思うようになったのは大きかった。
- 全く知らなかった税関の仕事や、海外を含めた物流を間近で見ることができた。
- 実際に税関の若手職員と話ができる機会が非常に良かった。より近い感覚や目線で、就活のエピソードや実際に働いて感じしたことなどを聞け、自分の進路を考えるヒントをもらった。
- 若手職員の方々は気さくな方が多く、職場の雰囲気の良さが伝わってきた。

### 次回に向けて出された意見

- 学生からの質問時間や討論時間もあれば面白い。
- 研究発表についての質問は、もう少し時間があっても良いのではと思った。
- 予選会の結果発表の期間から、本番までの期間が少し短いと感じた。
- 実際の税関職員が働いている現場の視察があるとよい。
- 開始の時間が早すぎて、遠方に住んでいる人が非常に大変だった。
- 審査員からチームに向けて何かしらの形でフィードバックがあると嬉しい。

AM  
午前

## 職場見学：東京外郵出張所、FedEx



PM  
午後

## 主催者代表挨拶、審査員の紹介、 各グループによる研究発表会



PM  
午後

## 若手職員との交流会



PM  
午後

## 結果発表、表彰、講評、記念撮影

### ★最優秀賞



### ◎優秀賞



### ◎優秀賞



### 亜細亞大学 国際関係学部

#### 「久野ゼミ」

<テーマ>  
サプライチェーン強靭化に向けた輸入統計のあり方  
～新たな貿易統計プラットフォームの構築にむけて～



### 中央大学 経済学部

#### 「とろけるチーズ班」

<テーマ>  
チーズの貿易自由化と生産者保護

### 津田塾大学 総合政策学部

#### 「ゆきのこ」

<テーマ>  
日本の水素技術における海外市場開拓の可能性



PM  
午後

## 結果発表、表彰、講評、記念撮影

### ○特別賞

#### 福知山公立大学 地域経営学部

「林として弓」

日本の弓道文化を世界へ  
～日本製弓具の輸出入規制と品目分類について～



### 敢闘賞

#### 富山高等専門学校 国際ビジネス学科

「らいちょう」

エキゾチックアニマル 密輸の現状と課題



### 敢闘賞

#### 高崎経済大学 経済学部

「梅島ゼミナール」

貿易における越境ECの分類  
～モノかサービスか～



### 敢闘賞

#### 東京国際大学 商学部

「Export Sphere Researchers (ESR)」

日本の輸出多角化に関する研究  
-貿易データを用いた分析 -

PM  
午後

## 結果発表、表彰、講評

### 敢闘賞

#### 千葉大学 法政経学部

「伊藤ゼミ」

<テーマ>  
港湾の効率性



### 敢闘賞

#### 富山高等専門学校 国際ビジネス学科

「Latte」

<テーマ>  
知的財産侵害物品対策の活動について  
—YKKのB.P.P.活動を中心として—



### 敢闘賞

#### 福島工業高等専門学校

#### ビジネスコミュニケーション学科

「タカギーズ」

<テーマ>  
日本の地理的表示登録産品の輸出に向けて



### 講評



### インタビュー







